

# 琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係 沖縄返還協定調印式(2) (総理挨拶、談話、外務大臣挨拶)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43564">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43564</a>

參考資料 (日韓公談調印式關係)

調印式の際の佐藤総理の乾杯の辞

(添え紙及び協定の)

この皆様とよみ<sup>まじり</sup>を挙げて日韓<sup>協定</sup>内閣

書札の付の~~協定~~協定の調印を祝<sup>し</sup>日韓西

口民の~~協定~~友好<sup>協定</sup>を祈りたんと存じ

ます。

大 秘 書 官 派

高杉首席代表

アジア局長

広瀬参事官

北東アジア課長

条約局長

調印式次第 (案)

北東アジア課

40. 6. 20

日時 6月22日(火) 午後5時 - 6時

場所 総理大臣官邸

次第

1. 着席
2. 条約及び協定の署名及び公文の交換
3. 挨拶
4. 国歌吹奏
5. シャンパン乾杯
6. 散会 (おとこワイルド・パーティが行われる)

冷刻新南に登る予之午後四時

調印式次第

(両国代表団は4時50分までに総理官邸に着く。)

1. 入場 (午後5時57分頃)

入場の際然るべき奏樂が行なわれる。

2. 着席 (その間佐藤総理及び周僚が入場)

3. 全権委任状の提示

4. 条約及び協定の署名及び公文の交換

5. 椎名大臣と李長官が握手される。

6. 椎名大臣挨拶 (森田事務官通訳)

7. 李長官挨拶 (金井泰副理事官通訳)

8. 国家吹奏 (韓国々歌, 次いで「君が代」)

9. シャンパン乾杯 (総理の発声による)

10. 散会 (あと、総理主催レセプションが  
行なわれる。)

Sticker  
Knettes

法務省入國管理局次長	中村正夫
總務課長	菅沼 潔
文部省官房参事官	石川 二郎
文化財保護委員會事務局長	平岡 修
文化財鑑査官	松下隆幸
大藏省國際金融局投資二課長	熊田淳一郎
通産省通商振興局資本協力課長	熊谷善二
經濟企画庁調整局經濟協力課長	笹 潤 男
大藏省財政調査官	村井 七郎
理財局外債課長	渥美 謙二
通産省重工局次長	赤沢 璋一
外務省經濟協力局國際協力課長	御 亞 清尚
經濟協力課長	岡田 晃

外務省

外務省アソシエイト課長	黒田 瑞夫
条約局条約課長	松 永 信雄
法規課長	中江 要介
書記官	柳谷 謙介
農林省水産庁長官	丹羽 雅次郎
漁業調整課長	安 福 教夫
運輸省海上保安庁艇備救難部長	猪 口 猛夫

外務省

Sticker  
Karettas) 2}

日本側の官印之入リ必要者 (調印式場に入付)

- 海外経済協力基金総裁 柳田誠二郎 (註)
- 理事 柿坪精吾
- 石黒四郎
- 吉田信邦
- 高木良一
- 業務部長 疫血長雄
- 業務才三課長 亀井謙三
- 業務才三課 吉原利昭
- " " 広岡欣三郎

(註) 柳田総裁印、調印式場に入付。

GA-6

外務省

X 9 2 月

日本側代表

第7次日韓全面会談代表名簿

4.0.4.26

(日本側)

- 首席代表 ○ 高杉晋一 X
- 次席代表 外務省外務審議官 ○ 牛場信彦 X
- 代表 法務省民事局長 ○ 新谷正夫 X (K)
- " " 入国管理局長 ○ 八木正男 X (K)
- " " 外務省アジア局長 ○ 後官虎郎 X
- " " 経済協力局長 ○ 西山昭 X
- " " 条約局長 ○ 藤崎万里 X
- " " 情報文化局文化事業部長 ○ 針谷正之 X
- " " アジア局参事官 ○ 広瀬達夫 X
- " " 大臣官房審議官 ○ 佐藤正二 X
- " " 条約局参事官 大和田 涉 X
- " " 大蔵省理財局長 佐竹 浩 X (註)
- " " 国際金融局長 渡辺 謙 X (註)
- " " 文部省初等中等教育局長 福田 繁 X (註)
- " " 文化財保護委員会事務局長 ○ 官地 茂 X (註)
- " " 厚生省社会局長 牛丸 謙留 X

○ 今村譲 X OK

4人  
石田朗

代表	農林省水産庁次長	和田正明
"	通商産業省貿易振興局長	<del>渡辺 孫栄</del>
"	経済企画庁調整局長	高島節男
(韓国側)		<del>宮沢 欽哉</del>
首席代表	駐日代表部代表	金 東 祚
代表	駐日代表部公使	方 熙 熊
"	"	李 圭 星
"	経済企画院次官補	金 栄 俊
"	外務部通商局長	全 祥 振
"	韓国銀行理事	李 相 德
"	"	金 奉 殷
"	国立博物館長	金 載 元
"	高麗大学校教授	李 弘 植
"	東国大学校教授	黄 寿 永
"	文教部文化財管理局長	河 甲 清
"	法務部法務局長	李 炯 鎭
"	国立水産振興院長	金 命 年
代表 (法律顧問)	法制処次長	劉 敏 相
諮問委員 (英文)	ソウル大学教授	金 辰

韓国側事務要員 (順不同)

韓国代表部 一等書記官	申 東 元
公報官	蔡 義 錫
韓国銀行外國部次長	朴 走 緒
経済企画院事務官	姜 信 祐
財務部	朱 炳 昌
外務部	許 昇 昇
"	李 廷 彬
"	權 泰 雄
" 二等書記官	宣 峻 英
" 事務官	孔 魯 明
"	孔 世 勲
韓国代表部 二等書記官	培 湜 河
外務部	李 和 均
" 侍医	李 輔 英
代表部 総領事	黄 元 澄
" 経済課長	崔 浩 中
" 第一領事課長	李 敬 燮
" 二等書記官	高 禮
公報館長	權 敬 昌



代表部 = 一等書記官

李圭并

朴性武

李膺奎

金得奎

アツレ

金英珂

申集浩

朴林淑

二等書記官

金喆熙

三等書記官

姜午鎰

宋河均

姜尚璜

金炳連

姜勝求

鄭京根

鄭瓊允

禹元錫

アツレ

金標

アツレ

金政寬

外務部 庶民課長

信

代表団名簿

李東之 長官

金東祚 大使

方熙 公使

李奎晃 公使

延河龜 局長

金榮俊 次官補

金祥振 局長

李炯鎬 局長

李弘龍

張壽永

(隨員)

李炳泰 長官祕書

長官付 待医

譯文

### 李東元 外務部長官の挨拶

雅名 外務大臣閣下、

佐藤 總理大臣閣下を 始め 貴賓の 皆様、

○ 今日 私共は 韓日兩國関係において 真に

○ 意義の深い日を迎へることに なりました。 韓日

兩國は この夜の 調印を契機として 不幸に

ありました過去を 清算し 数十年間 継続した

非正常的な 状態から 互恵平等の 立場に 立つ

提携に 進むための 第一歩を 踏み出すことに

なつたので あります。

その間 今日に 到るまで 兩國は 狭い道を

たどつて 多岐に 地理的に 最も隣接して いる

のみならず 古く昔から 密接な 関係があつた

兩國の 過去 羊舌鮒に 互つた 不幸な 関係

を 清算し、ここに 新に 國交を 正常化し

相互協力する ことを 為す 今日の 迎へる

為めには、まことに 多し の 努力と 忍耐が

必要に ありました。事は 韓日交渉、経過から

も 明らかで あります。

過去の 関係から 由來する 諸懸念を 安堵し

新たな 関係を 結ぶ ことが 兩國の 使命に

ありと 存じます。兩國を 相同の 國際情勢

又 大勢の 立場に 立つて 早急に 國交を 正常

化する 必要に 迫られて 存じます。

兩國の 國交正常化は 實に 兩國民と 共に 東

世界の 望む 所であり ます。

ここに兩國の明き、將來の爲の約束を  
しましたのであります。將來、兩國間に一層  
緊密な且つ、敦篤な関係を築くには、  
兩國の善隣国家として、従来よりとも  
多大の誠意と努力を傾注する必要があり  
ます。今日、意義深い此の席に臨み、  
兩國の將來にあり得る繁榮と福祉をあら  
ごとく祈ると同時に、アジアの平和と世界  
平和に貢献するものと信じ、やまざる次第  
であります。

この会議の開催されるまでは、過去十四年  
長の歳月に亘る交渉の必要とされたのを、  
かえり見ると、まことに感慨を量るべ  
からざる。この間、直接間接に、双方の人の

韓日交渉に、殊に多大の努力を捧げられたか  
つに、最終段階において、兩國の交渉者  
夜に日を、ついで捧げられた努力に、  
報いられたものと信じます。此の機会に  
韓日兩國代表団 皆様の努力に対し、深甚  
なる感謝の意を、表す次第に、あつた。

六月二十二日の日韓会談調印式における  
椎名外務大臣の挨拶

日韓会談の全面的妥結にあたり、大韓民国全権委員李東元外務部長官閣下、金東祚大使閣下とともに、佐藤総理大臣閣下および皆様方の御臨席の下に、基本関係条約その他関係協定の署名をここに滞りなく終りましたことは、私の衷心より喜びとするところであります。

思えば長い道のりでありました。一九五一年十月に開始された日韓予備会談から数えて十四年近く、一九五二年二月の第一次全面会談から数えても十三年半にわたって、両国関係者のたゆみない努力が皆々として続けられたにもかかわらず、交渉が容易に妥

結をみなかつたことは、この会談がいかに困難なものであつたかを如実に物語っております。その意味では、長い長い努力の結晶の上に立つて本日この歴史的な調印式に臨むことができず私どもは幸運なめぐり合せにあるともいえましよう。私は、この機会に、これまで十有余年にわたる交渉の各々の時期に、諸懸案解決への努力を一つ一つ忍耐強く積み重ねて来られた日韓両国の数多くの先輩、同僚に対して深甚なる敬意と感謝の意を表したいと存じます。

有史以来、特に千有余年前われわれの祖先があなた方の祖先から高い文化を受け入れて以来、両民族が地理的歴史的に、また経済的社会的に切つても切れない深いつながりをもつて参りました

3  
ことは今さらくり返して申すまでもありません。このことを思う時、最近不幸な時期がありましたことは誠に残念であり、私は日韓関係が新時代に入るこの日に当り、あらためてこの私の気持を申し述べ、心ある日本国民すべてとともに、この気持の上に立つて、誠意をもつて<sup>いっしょに</sup>両国民の間の融和協力関係の増進のために尽力する決意であることを強調したいと思えます。

また、私は、日韓両国民の圧倒的大多数が日韓国交の速やかなる正常化をひたすら望んでいることを確信しております。このたび日韓会談が妥結をみるに至つたのは、朴大統領閣下、佐藤総理大臣閣下を初め両国指導者のステーツマンシップおよび両国交渉当事者の真剣な努力の成果であることは申すまでもありません。

4  
んが、私は、その背後に両国民の交渉妥結に対する強い希望があつたからこそ、あらゆる困難を乗り越り遂に今日の日を迎えることができたのであると信じて疑いません。そして、<sup>両国民の</sup>友好親善関係の緊密化に伴つて、両国関係は今後発展の一路を辿り、相接して国をなす仲のよい友邦として、相携えてアジアひいては世界の平和、人類の福祉に限りなく貢献することができると確信する次第であります。

記念すべきこの日、韓国の美しい山河に初夏の気が満ちあふれ、去る二月私がお訪ねした時にはまだ冬だつたソウルの街も粧いを新たにし、南山の緑は濃く、漢江の水は澄んでいることでしょう。そして、私は、今日私どもが取り交した固い契りが両国民の今

後の一層の繁栄に大きく役立ち、歴史的な出来事となることを信じております。このように考える時、私は、皆様もそうであると思いますが、はかりしれない感激に包まれるのであります。

日韓国交史上画期的な意義を有する調印式に際し、両国国民の未長い繁栄を祈つて、私の御挨拶を終わります。

陸 遠 顧問  
 金 東 輝 課長  
 鄭 信 根 課長  
 金 正 泰 副理事官  
 黃 壽 承 教授  
 李 弘 植 教授  
 金 奉 殷 詩 銀 理事  
 金 命 年 水 產 振 興 院 長  
 李 政 谷 邦 交 局 長  
 金 在 鎰 公 使  
 李 炯 鎬 法 務 局 長  
 金 祥 振 通 商 局 長  
 延 河 龜 豆 州 局 長  
 金 榮 俊 官 補  
 李 圭 星 公 使  
 方 配 公 使

牛 場 外 務 審 議 官  
 新 谷 氏 幸 局 長  
 八 木 入 管 局 長  
 後 宮 了 郎 局 長  
 西 山 經 濟 協 力 局 長  
 藤 崎 希 約 局 長  
 針 谷 文 化 審 議 官 長  
 広 瀨 了 郎 局 長 官  
 佐 藤 官 房 審 議 官  
 大 和 田 泰 約 局 長 官  
 中 尾 理 賢 局 長  
 鈴木 國 隆 金 融 局 長  
 福 田 初 中 局 長  
 宮 地 文 化 財 政 局 長  
 今 村 社 會 局 長  
 石 田 水 産 局 長

金 東 祚 代 表  
 李 東 元 長 官  
 高 樺 名 大 臣  
 高 杉 代 表

日韓調印式及レセプション準備見

四〇、六、二一  
總理 秘書 官 官

一 會場設置準備 (責任者 佐藤事務所長)

① 調印式場設置別紙圖面 全扉返り

② 全扉返り表紙上、マキウ (四本) ミント、F、及び白用紙表紙上

③ 日旗 (表紙上) マキウ (四本) ミント、F、及び白用紙表紙上

④ 日旗 (表紙上) マキウ (四本) ミント、F、及び白用紙表紙上

二 官印出入制限 (責任者 小池總務部長事務官)

① 午後三時以降 官印出入禁止 (西会謝絶)

② 發送用自動車、道路制限 (三時、八時、西門、)

③ 自動車、野口側、全扉返り、全扉返り、使用 (野口側)

④ 官印職名を当日 記事、着用 (事務所長)

⑤ 發送用自動車記事 (發送用、)

⑥ 調印式 (レセプション) 出席者名簿、記事配付 (野口側)

⑦ 当日受付 (事務所、外務省) 及受付開始時刻

三 報告関係 (責任者 馬場報道部長事務官、村上外務省)

① 当日官印出入者、午後三時以降 全扉返り

② 着甲 (朝直電、)

③ 調印式入場、野口側、

④ 特別記事 (、)

⑤ 報道車、調印式、

⑥ 天陽、取付、報道、

⑦ 全扉返り、

⑧ 全扉返り、

⑨ 全扉返り、

⑩ 全扉返り、

⑪ 全扉返り、

⑫ 全扉返り、

⑬ 全扉返り、

⑭ 全扉返り、

⑮ 全扉返り、

⑯ 全扉返り、

⑰ 全扉返り、

⑱ 全扉返り、

⑲ 全扉返り、

⑳ 全扉返り、

㉑ 全扉返り、

㉒ 全扉返り、

㉓ 全扉返り、

㉔ 全扉返り、



式場入場の可否

優待防止の取柄

レセプション会場は、代表挨拶とし、レセプション

開始後（五時四十分）は、定位置にて待機

機口レセプション開始後、概ね五分間以内

入場者は、特別記者着席

招待席は、取片時リノコト

レセプション会場は、中庭を以て外、雨戸口扉止

六時、レセプション会場へ入場する。報道関係者は

社別、氏名リスト（会場ラウンジ、招待一切）屋外

の件（一）と野上、馬場各々

（二） 総理秘書官

牛場清成の一言

（三） 入り及、合見を以て

（四） 総理大臣室にて合見（特立、貴族院を以て）

（五） 合見終了後、日本閣内移室（兼内）

（六） 調印式開始後、日弁閣内移室にて待機

（七） 調印式終了後、代表団到着合流

（八） 調印式終了後、代表団到着合流

（九） 調印式終了後、代表団到着合流

（十） 調印式終了後、代表団到着合流

五時、閣内協議及び、儀々関係の節々

（一） 四時三十分閣内協議

（二） 随行者の記者、自動車へ入場

（三） 閣内終了後、調印式を以て関係定機

（四） 待機

（五） 日本代表団入場（同前）式場入場（兼内）

（六） 調印式終了後、総理、官房長官

（七） 全権代表退席後、退席レセプション会場へ

六、湖中到湖濱 (差約五)

午修三時... (全數) 約...  
湖邊... 湖濱... 湖中...  
八時完了

湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...  
湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...

湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...

湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...  
湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...

湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...

湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...  
湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...

湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...  
湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...

湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...  
湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...

湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...  
湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...

湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...  
湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...

湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...  
湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...

湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...  
湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...

湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...  
湖濱... 湖中... 湖濱... 湖中...

テレビが主目、関係

1. 準備完了、午後五時三十分

2. 取柄の書き入、場外より、五時三十分

3. 司会者、演説、五時三十分、会場、演説者

4. 式、演説、五分

5. 式、演説、五分

6. 式、演説、五分、司会者

7. 式、演説、五分、司会者

8. 式、演説、五分、司会者

9. 式、演説、五分

10. 式、演説、五分、司会者

11. 式、演説、五分、司会者

12. 式、演説、五分、司会者

13. 式、演説、五分

14. 式、演説、五分、司会者

15. 式、演説、五分、司会者

16. 式、演説、五分、司会者

17. 式、演説、五分、司会者

18. 式、演説、五分、司会者

19. 式、演説、五分、司会者

20. 式、演説、五分、司会者

21. 式、演説、五分、司会者

22. 式、演説、五分、司会者

23. 式、演説、五分、司会者

24. 式、演説、五分、司会者

25. 式、演説、五分、司会者

26. 式、演説、五分、司会者

27. 式、演説、五分、司会者

28. 式、演説、五分、司会者

29. 式、演説、五分、司会者

30. 式、演説、五分、司会者

31. 式、演説、五分、司会者

32. 式、演説、五分、司会者

33. 式、演説、五分、司会者

34. 式、演説、五分、司会者

35. 式、演説、五分、司会者

36. 式、演説、五分、司会者

37. 式、演説、五分、司会者

